

選択と自己実現

社員一人ひとりが成長・活躍目標を持ち、その実現に向けて主体的に最大限の力を発揮し、それがやがて会社としての大きな成果につながるよう、さまざまな機会を提供しています。マツダと国内・海外のグループ会社が目標を共有し、国や地域にかかわらず同品質の生産、販売ができるよう、職種や役職に応じたさまざまなキャリア開発・スキルアップ支援のための教育・研修を実施しています。

2016年度教育研修実績

(単体)

1人当たりの平均研修日数	9.6日/年
1人当たりの平均研修費	141,100円/年
研修を受けた社員数	20,000名/年

主な教育・研修制度

教育・研修制度	開催時期、回数など	対象	目的	研修概要	備考
マツダ・ビジネスリーダー開発 (MBLD)	年1回実施	国内・海外の全グループ社員	<ul style="list-style-type: none"> ・トップマネジメントの意思伝達 ・全階層における、全社的視点を持ったビジネスリーダーの育成 ・企業文化・風土の変革 	経営課題や将来の方向性などに関して、マネジメントからのメッセージ発信、および全社員の主体的参画を通じた理解と実践の促進	2000年よりスタート。2012年度から毎年「ブランド価値経営」をテーマとして実施。
グローバルビジネスリーダープログラム	随時実施	国内・海外のマツダグループから選ばれた社員	リーダーシップ、視野拡大、戦略構想力を高め、グローバルビジネスをリードする次世代の経営者候補の育成	経営トップとのコミュニケーション、チームによる経営課題への取り組みなどの実践的な活動	2015年度からスタート
グローバル生産拠点人材育成プログラム	随時	海外生産拠点のマネジメント、技能系社員	海外生産拠点従業員への各階層基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント研修 ・監督者教育 ・技能教育 ・からくり改善研修 	—
階層別研修*1	随時実施	事務・技術系社員*1	各階層の役割を再認識して、組織力の向上に向け、自分がどのように活躍できるかを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・3年目研修 ・等級6研修 ・等級5部門間交流研修 各研修共に、異なる部門メンバーによるグループディスカッションを通して意識改革を図る	—
役割研修*1	新任時	新任幹部社員、新任等級5(係長級)社員*1	管理者としての「自覚、責任感の醸成」「全社的視点の習得」を促し、役割意識の転換を図る	Mazda Way、CSR、コンプライアンス、内部統制、労務管理、人権、安全健康など	—

事務・技術系社員 人事主催研修体系

